

Parallels Desktop® 4.0 for Mac (ビルド 4.0.3810) アップデート Read Me

目次 :

1. Parallels Desktop の概要
 2. 更新情報
 3. 不具合の修正と機能の向上
 4. システム要件
 5. サポートするオペレーティングシステム
 6. Parallels Desktop のインストール
 7. Parallels Desktop 4.0 for Mac へのアップグレード
 8. Parallels Desktop のアクティベーション
 9. Parallels Desktop の削除
 10. 既知の問題
 11. 著作権表示
 12. 連絡先情報
-

1. Parallels Desktop の概要

Parallels Desktop® 4.0 for Mac は、Intel® プロセッサ (1.66 GHz 以上) を搭載した Macintosh® コンピュータ上に仮想マシンを作成するための仮想化ソリューションです。Windows®、Linux®、または他のオペレーティングシステムを各仮想マシンにインストールして、これらのオペレーティングシステムやそのアプリケーションを Mac OS X のアプリケーションと並べて使用できます。

Parallels 受賞歴のあるハイパーバイザベースの仮想化テクノロジーを基盤とする Parallels Desktop により、次の操作が可能となります。

- 仮想マシンで 32 ビットと 64 ビットのオペレーティングシステムを使用する。
- Mac を再起動することなく、Windows や Linux のアプリケーションと Mac OS X のアプリケーションを並べて使用する。
- Mac および仮想マシンのファイルやアプリケーションを同じように操作する。
- 物理コンピュータやサードパーティの仮想マシンから Parallels 仮想マシンを作成する。

Macintosh コンピュータ上で実行する複数のオペレーティングシステムの操作性を強化するため、Parallels Desktop には Parallels Transporter®、Parallels Explorer®、Parallels Image Tool、および Parallels Compressor® ユーティリティが含まれています。

2. 更新情報

Parallels Desktop 4.0 for Mac (ビルド 4.0.3810) アップデートにおける更新情報

- DirectX 9.0 Shaders Model 2 をサポート
- 仮想マシンへの試験的な Windows 7 のインストール
- Apple Remote Disc をサポート
- Coherence におけるサイレントスタート
- Dock に登録された Mac アプリケーションに Windows ファイルをドラッグアンドドロップ可能に
- 仮想マシンリスト内の仮想マシンをコンテキストメニューから削除可能に
- 新規仮想マシンアシスタントで CPU およびメモリオプションを指定可能に
- システムフラグに "disp.allow_to_suspend_bootcamp_vm=1;" を記述することにより、Boot Camp 仮想マシン

をサスペンド可能に (サスペンド状態にしたまま Boot Camp ネイティブで起動しないでください)

- プライマリオペレーティングシステムにおいて試験的な Snow Leopard サポート
- ゲストオペレーティングシステムにおいて試験的な Snow Leopard サポート
- Parallels 社によるカスタマエクスペリエンスプログラム
- SSE4 サポート (メディアアプリケーションに対するパフォーマンスの向上)

Parallels Desktop 4.0 for Mac (ビルド 4.0.3540) アップデートにおける更新情報

- このアップデートは不具合の修正と機能の向上のみです。 (不具合の修正と機能の向上セクションをご参照ください)

Parallels Desktop 4.0 for Mac (ビルド 4.0.3522) における更新情報

- Modality 表示モード - Modality では、仮想マシンウィンドウが透過的でより小さく表示されます。アプリケーションのインストールや時間のかかる作業のあいだ、仮想マシンを管理しやすくなります。
- クリップ - このツールは Mac OS X または仮想マシンの画面上を部分的にキャプチャしてスクリーンショットとして利用できるようにします。スクリーンショットは全てのウィンドウより前面に表示され、仮想マシンがフルスクリーンのときにも表示されます。
- Mac OS X 仮想マシン - ゲスト OS に Mac OS X Server Leopard をサポートしました。
- 音声認識のサポート - Parallels 仮想マシンのスタート、ストップ、一時停止、サスペンド、その他のアクションを音声により実行することができます。
- Mac OS X に Windows タスクバーアイコン - 仮想マシンを Coherence モードにしたときに Windows タスクバーアイコンを Mac OS X メニューバーに表示させることができます。
- セーフモード - 仮想マシンはそれぞれセーフモードで起動することができます。セーフモードで起動しているあいだに仮想マシンで何らかの問題があった場合でも仮想マシンが起動する前の状態に復帰できます。
- iPhone 連携 - Parallels Mobile アプリケーションにより、ネットワーク経由で Mac 上の仮想マシンをコントロールすることができます。
- パフォーマンスの向上 - 仮想化エンジンのパフォーマンスを改良しました。
- パワーセーバー - 強化されたパワーマネジメント機能により、ポータブルコンピュータ上で仮想マシンを動作させたときの稼働時間を延長。
- 3D グラフィックサポートとビデオの強化 - Direct X 9.0 と OpenGL 2.1 をサポート。Parallels Desktop は DirectX Pixel Shaders 2.0 をサポートします。仮想マシンに最大 256 MB までのビデオメモリを設定できるようになりました。仮想マシン内でのビデオオーバーレイもサポートします。
- 4-way SMP サポート - 仮想マシンに最大 4 個の CPU を割り当てることができます。仮想マシンへより高いパフォーマンスを提供します。試験的に 8-way SMP をサポートします。
- 仮想マシンディレクトリ - 仮想マシンリストをデザインしなおし、お気に入りアプリケーションのリストと統合しました。
- Parallels Internet Security - Kaspersky® により提供された Parallels Internet Security アンチウィルスソフトウェアが一年間無償で使用できます。
- 64 ビット ゲスト OS サポート - 仮想マシン上で 64 ビットげすとオペレーティングシステムをサポートしました。64 ビット Windows や Linux OS をゲストオペレーティングシステムとして利用できます。
- ACPI サポート - ゲストオペレーティングシステムに対して ACPI をサポートしました。ACPI により、ゲストオペレーティングシステムと仮想マシンをシャットダウンできるようになりました。ポータブル Mac では、ゲストオペレーティングシステムからバッテリー状態を確認できます。
- 最大 2 TB の仮想ハードディスク - 最大 2 TB までの仮想ハードディスクをサポートしました。
- 仮想マシンへの 8 GB RAM サポート - 新しいメモリ割り当て機能により、一つの仮想マシンに 8 GB までのメ

メモリをサポートしました。

- PXE ブート - ネットワークサーバからゲストオペレーティングシステムの起動をサポートしました。

- SDK/API/Scripting - プログラミング用の API と C/C++ の API ラッパーを提供します。

- Parallels Image Tools でのパーティションリサイズ - Parallels Image Tool で仮想ハードディスクを拡張したときに、最後のパーティションに空きスペースを追加できるようになりました。

- メモリマネジメントの改善 - 仮想マシンに割り当てたメモリサイズの合計がホストコンピュータの実装メモリサイズを超えた状態でも、仮想マシンは動作します。

- SCSI - 15 個の CD/DVD や仮想ハードディスクをサポートする SCSI インターフェースを実装しました。

- FAT 32 ターゲットのサポート - Parallels Transporter は、仮想マシンの変換先に FAT32 をサポートしました。FAT 32 ファイルシステムは一ファイルに対して 2 GB の制限があるため、Parallels Transporter は移行または変換で仮想マシンのハードディスクファイルを分割します。

- Parallels Tools の改良 - Parallels Tools は Mac OS X ゲストオペレーティングシステムとその他の以下の新しいコンポーネントを含みます。

- Mac OS X ゲストオペレーティングシステム用マウス同期ツール。

- 仮想マシンウィンドウのリサイズにより、Mac OS X ゲストオペレーティングシステムの解像度が追従する機能。

- Mac OS X ゲストオペレーティングシステムの時刻同期。

- Mac OS X ゲストオペレーティングシステムの共有フォルダ。

- Linux ゲストオペレーティングシステムの共有フォルダ。

- GUI の改良 - お気に入りのアプリケーションリストと統合した仮想マシンのリストを提供する "仮想マシンディレクトリ" や、カスタマイズ可能なツールバーを実装。仮想マシンが実行中でも仮想マシンの構成が表示可能に。他のマルチウィンドウアプリケーションのように、仮想マシンをシャットダウンしても Parallels Desktop はウィンドウをクローズしなくなりました。

- ネットワーク機能の向上 - 一つの仮想マシンに最大 16 個のネットワークアダプタを接続できます。ネットワークコネクションとデータ転送スピードを強化しました。

- 仮想マシンのオートスタート - Parallels Desktop 起動時に、仮想マシンを自動的にスタートする設定ができるようになりました。

- ごみ箱の統合 - Windows 仮想マシンからファイルを Mac OS X のゴミ箱へドラッグすると仮想マシン Windows のごみ箱内に移動します。

- VirtualBox 仮想マシンのサポート - Parallels Transporter により、VirtualBox 仮想マシンから Parallels 仮想マシンを作成できます。Parallels Explorer により、VDI 仮想ハードディスク内のデータを参照することができます。

- コマンドライン管理ツール - Terminal 上のコマンドラインユーティリティにより Parallels Desktop を管理することができます。企業向けのリモート管理などで役に立ちます。

- SmartGuard - スナップショットの作成タスクを自動化します。

- シャットダウンボタン - ツールバーのシャットダウンボタンにより、ゲストオペレーティングシステムをシャットダウン操作できます。

- Mac 標準ヘルプ - Mac OS X 標準のヘルプで Parallels Desktop のヘルプを表示します。

- 仮想マシンテンプレート - 過疎マシンテンプレートの作成により、複数の仮想マシンの提供、配布がシンプルで簡単になります。

- Quicklook - 仮想マシンのサスペンド状態等を確認できます。

- Finder へのショートカットプラグイン - 仮想マシンのアプリケーションへのショートカットが Finder 上でメニューとして表示されます。

- Spotlight プラグイン - このプラグインは Spotlight が仮想ハードディスクファイルのインデックス作成を抑制し、仮想マシンのパフォーマンスを向上させます。
- ダイレクト USB 接続 - USB デバイス接続先ルールを管理します。デバイスを Mac OS X や仮想マシンに自動的に接続することができます。
- SmartMount - Parallels Desktop は Max OS X にマウントされたリムーバブルドライブを自動的に検出し、Windows 仮想マシンへ共有します。
- Linux ゲストオペレーティングシステム用のコンパイル済みカーネルモジュール - カーネル依存のエラーを減らすために、Linux 用 Parallels Tools ディスクイメージ内にコンパイル済みカーネルモジュールを用意しました。
- 仮想ハードディスクイメージ拡張時の書き換え - Parallels Image Tool が仮想ハードディスクイメージサイズを拡張するときに、コピーを作成せずに書き換えるようになりました。
- URL リンクのハンドリング - 仮想マシンごとに URL リンクのハンドリングを設定できるようになりました。RSS、ニュースグループ、リモートアクセス等、それぞれ別のアプリケーションを指定できます。
- 新しいキーリマップ - 様々なキーの組み合わせをリマップして仮想マシンに送ることができます。
- インストールメディアの検出 - Parallels Desktop は Mac の光学ドライブ内のメディアからインストール可能なオペレーティングシステムを検出し、そのオペレーティングシステム用の仮想マシンを作成します。
- 試験的な Mac OS X Snow Leopard サポート - ゲストオペレーティングシステムとして Mac OS X Server Snow Leopard をサポートします。
- パッケージバンドル形式の仮想マシン - Parallels 仮想マシンは PVM 拡張子のバンドルで表示され、仮想マシンファイルを格納します。
- スマートインストール - インストーラは Parallels Desktop のインストール前にアップデートを確認し、最新バージョンをインストールすることができます。
- Time Machine 連携 (Mac OS X Leopard ホスト) - Time Machine のバックアップリストへ仮想マシンを追加または削除ができます。
- アダプティブハイパーバイザ - 仮想マシンウィンドウが非アクティブになるとリソースの割り当てを仮想マシンから Mac OS X へ、またはその逆をコントロールします。

3. 不具合の修正と機能の向上

Parallels Desktop 4.0 for Mac (ビルド 4.0.3810) アップデートにおける更新情報

改善点：

- パフォーマンスの向上。
- USB ポートの改善 (USB 1.1 に対する互換性とパフォーマンス)。
- サスペンド / レジュームにおけるパフォーマンスの向上。
- Parallels Desktop 2.5 および 3.0 から仮想マシンのコンバート時のハードディスクのパフォーマンスを向上。
- Parallels Desktop の GUI が長時間使用し続けるとメモリリークを起こすことがある問題を修正。
- Redhat Linux Enterprise Server 5.2 x86_x64 のインストール時に、まれにクラッシュすることがある問題を修正。
- USB 経由の Palm デバイス接続の問題を修正。
- USB 経由のサウンド再生を改善。
- Parallels Desktop 4.0 のクリーンインストールにおいてキーボードリマップが空白になることがある問題を修正。

- Mac のネットワーク環境変更時のネットワークの問題を修正。
- 時刻同期を有効にしているときに仮想マシンでタイムゾーンと夏時間が適切に同期しない問題を修正。
- ヨーロッパ言語キーボードにおいて AltGr キーボードマッピングに関する問題を修正。
- 仮想マシンのアップグレードのあいだに Parallels Tools のインストールがハングアップすることがある問題を修正。
- サービスパック無しの Windows XP がインストールされた Boot Camp パーティションの構成に失敗することがある問題を修正。
- Coherence 以外の表示モードで Logitech マウスホイールのスクロールの問題を修正。
- サスペンド中の仮想マシンの構成を表示できないことがある問題を修正。
- 仮想マシンがリストに追加されるとき、仮想ネットワークカードに MAC アドレスが複製される問題を修正。
- Boot Camp 仮想マシンのアップグレードの際のリブート後にハングアップすることがある問題を修正。
- Mac OS X ゲスト OS において間違った CPUID エミュレーションのためにパフォーマンスを損なう問題を修正。
- ゲスト OS の CPU 使用率が高くなった際に、ホストコンピュータのパフォーマンスが損なわれる問題を修正。
- SMP 構成のゲストが、Mac OS X ホストのパフォーマンスに影響を与える問題を修正。
- Windows ゲストにおいて、大きな負荷がかかるとき処理速度の低下が起きる問題を修正。
- Parallels Desktop 2.5 および 3.0 からのアップグレードでゲスト OS がハングアップまたはリブートにより、時間がかかる問題を修正。
- Boot Camp 仮想マシンの 'chkdsk' 問題 - 既存の Boot Camp 仮想マシンの構成を変更する必要がある問題を修正。
- 仮想マシンの CPU 使用率を押さえ、バッテリーライフを向上。
- Parallels Desktop 2.5 または 3.0 からアップグレードされた Windows Vista において UAC (user access control) が無効になることがある問題を修正。
- Parallels Tools のアンインストールの際に共有プロファイルが自動的に無効化するように修正。
- Parallels Tools がインストールされていると、Java アプリケーションのスクロールに不具合が起きることがある問題を修正。
- Snow Leopard における Dock アイコンの問題を修正。
- 共有フォルダにおけるケースセンシティブの問題を修正。
- 共有フォルダに多数のファイルが存在すると一部のファイルがリストされないことがある問題を修正。

Parallels Desktop 4.0 (ビルド 4.0.3540) アップデートにおける更新情報

アップグレード時の不具合の修正：

- Boot Camp において "Autocheck not found" メッセージでクラッシュし、ブルースクリーンとなる問題を修正。

備考：このバージョンにおいてもブルースクリーンが発生する場合は、仮想マシンの構成を開き、いくつかの設定をし直して構成ファイルの更新をお試しください。構成ファイルの更新は、Boot Camp パーティションの仮想マシンの問題に有効です。

- 仮想マシンのアップグレードの際に "0xA5" メッセージでブルースクリーンとなる問題を修正。

備考：このバージョンにおいてもブルースクリーンが発生する場合には、仮想マシンのバックアップコピーから再度コンバートをお試しください。コンバートの際には、バックアップコピーのバックアップの作成をおすすめします。

- アップグレードの際に Windows が停止してしまう問題を修正。

備考：このバージョンにおいてもこのエラーが発生する場合には、仮想マシンのバックアップコピーから再度コンバートをお試しく下さい。コンバートの際には、バックアップコピーのバックアップの作成をおすすめします。他の方法としては、仮想マシンの構成 CPU 設定で、" vm.compat_level=2 " を " システムフラグ " に追加します。

- 仮想マシンのコンバート後にクラッシュすることがある問題を修正。

- " intelppm.sys "、" agp440.sys " に関連してブルースクリーンが発生する問題を修正。

- Microsoft Virtual PC で作成された仮想マシンをアップグレードした場合にマウスが利用できなくなる問題を修正。

- アップグレード後に Windows XP 仮想マシンをのサウンドが無効になることがある問題を修正。

- アップグレード後に Boot Camp パーティションが利用できなくなる問題を修正。

備考：このバージョンにおいてもこのエラーが発生する場合には、仮想マシンの構成を開きいくつかを設定し直して構成ファイルの更新をお試しく下さい。

- アップグレード後に " Boot Camp パーティションのハードディスクを構成できませんでした。 " メッセージが表示される問題を修正。

備考：このバージョンにおいてもこのエラーが発生する場合には、仮想マシンの構成を開きいくつかを設定し直して構成ファイルの更新をお試しく下さい。

その他の修正：

- Mac OS X の再起動後に Parallels ネットワークドライバが動作しないことがある問題を修正。

- Coherence モードにおいてコピーアンドペーストができないことがある問題を修正。

- Windows ゲストに対してテキストデータ以外のコピーアンドペーストができないことがある問題を修正。

- Coherence モードにおいて " アプリケーションスイッチャー " による Windows アプリケーションの切り替えが出来ない問題を修正。

- 表示モードを切り替える際に、ネットワークアイコンが Mac OS メニューバーに表示される問題を修正。

- Coherence モードにおいて Mac アプリケーションが Windows アプリケーションより前面に表示される問題を修正。

- USB のパフォーマンスを向上し、Windows にインストールされた iTunes で iPhone を同期できるようになりました。

- Dispatcher サービスが全てのネットワークアドレスで TCP ポート 64000 をバインドすることがある問題を修正。

- Boot Camp パーティションを破損するため、Boot Camp 仮想マシンのサスペンド機能を削除しました。

- Coherence モードにおける .NET アプリケーションメニューの描画問題を修正しました。

- 問題のレポートで仮想マシンモニタのクラッシュおよびアプリケーションの収集データを修正。

4. システム要件

ハードウェア要件

- 1.66 GHz 以上の Intel プロセッサを搭載した Macintosh コンピュータ。仮想マシンで 64 ビットのオペレーティングシステムを実行するには、Intel Core 2 以上のプロセッサを搭載する必要があります。

- 最小 1 GB のメモリ、2 GB 以上を推奨。

- 起動ボリュームに Parallels Desktop インストール用の約 300 MB のディスクスペース。
- 各仮想マシンに約 15 GB のディスクスペース。

ソフトウェア要件

- Mac OS X Leopard v10.5.2 以降
- Mac OS X Tiger v10.4.11 以降

Mac OS X のバージョン、プロセッサの種類と実装メモリの情報は、アップルメニューから " この Mac について " を選択して取得できます。

5. サポートするゲストオペレーティングシステム

32 ビットオペレーティングシステム

- Mac OS X Leopard Server 10.5.x
- Windows 2008
- Windows Vista® (Business SP1, Enterprise SP1, Ultimate SP1 editions)
- Windows Server® 2003 SP2, R2
- Windows XP Professional SP2, SP3, Home Edition SP2, SP3
- Windows 2000 Server SP4, Advanced Server SP4
- Windows NT 4.0 Server SP6, Workstation SP6
- Windows ME
- Windows 98 SE
- Windows 95
- Windows 3.11
- MS-DOS 6.22
- Red Hat® Enterprise Linux 5.0, 4.0
- CentOS Linux 5.0, 4.0
- Red Hat Linux 9
- Fedora™ Linux 9, 8, 7
- SUSE® Linux Enterprise Server 10 SP2, 9 SP3
- OpenSUSE Linux 10.3, 10.2
- Mandriva™ Linux 2008, 2007
- Debian® Linux 4.0
- Ubuntu® Linux 8.04, 7.10
- Xandros Business 4.0
- Solaris® 10, 9
- FreeBSD® 7.0, 6.2
- OS/2® Warp 4.5
- eComStation™ 1.2

64 ビットオペレーティングシステム

- Mac OS X Leopard Server 10.5.x
 - Windows 2008
 - Windows Vista (Business SP1, Enterprise SP1, Ultimate SP1 editions)
 - Windows Server 2003 SP2, R2
 - Windows XP Professional SP2
 - Red Hat Enterprise Linux 5.0
 - CentOS Linux 5.0
 - Fedora Linux 9, 8
 - SUSE Linux Enterprise Server 10 SP2, 9 SP3
 - OpenSUSE Linux 10.3, 10.2
 - Ubuntu Linux 8.04, 7.10
 - Mandriva Linux 2008, 2007
 - Solaris 10
 - FreeBSD 7.0
-

6. Parallels Desktop のインストール

Parallels Desktop をインストールするには、常ね最新版をインストールすることをおすすめします。最新版の Parallels Desktop は [ラネクシー Web サイト](#) よりダウンロードします。ダウンロードが完了したら、DMG パッケージファイルを開き、" Install " アイコンをダブルクリックしてインストールを始めます。

Parallels Desktop は Parallels アップデートサーバに接続し、アップデートをチェックします。インストールしようとしているバージョンより新しいバージョンが見つかったら、新しいバージョンをインストールしようとしているバージョンをインストールするか確認のメッセージが表示されます。

- 現在のバージョンをインストールをクリックすると、インストールプログラムのご画面が表示されます。

- 新しいバージョンのダウンロードとインストールをクリックすると最新版の Parallels Desktop がダウンロードされます。

- インターネットに接続していないか、アップデートが存在しない場合には、通常通り、インストーラが起動します。

Parallels Desktop をインストールするには：

1. [ようこそ] ウィンドウで [続ける] をクリックします。

2. [大切な情報] ウィンドウで、Readme ファイルを読みます。[プリント] をクリックしてプリントするか、保存してあとから読むこともできます。[続ける] をクリックします。

備考：前のステップに戻るには、[戻る] ボタンをクリックします。

3. [使用許諾契約] ウィンドウで、使用許諾契約書を注意深く読みます。プリントするか保存して、あとから読むことをお勧めします。[続ける] をクリックします。

4. 使用許諾契約の内容に同意する場合には、ポップアップダイアログで [同意する] をクリックします。

5. [インストール先の選択] ウィンドウで Parallels Desktop のインストール先ハードディスクを選択します。Parallels Desktop がインストールできるのは、Mac OS X がインストールされた起動ボリュームのみです。他のディスクは選択することができません。[続ける] をクリックします。

6. [インストール] をクリックしてインストールを始めるか、または [アップグレード] をクリックして前のバージョンをアップグレードします。

パスワードを求められたら入力し、[OK] をクリックします。

7. [インストール] ウィンドウでインストールの進捗を確認できます。

8. インストーラはインストール成功のメッセージを表示します。インストールを完了するために [閉じる] をクリックします。

インストール終了後、アプリケーションフォルダより Parallels Desktop を起動することができます。Parallels Desktop アドオンの Parallels Transporter、Parallels Explorer、および Parallels Image Tool は /Applications/ Parallels/ フォルダより利用できます。

7. Parallels Desktop 4.0 for Mac へのアップグレード

通常、アップグレードは Parallels Desktop のインストールの手順と同じです。

アップグレードする前に、前のバージョンの Parallels Desktop を削除する必要はありません。インストーラは Parallels Desktop 4.0 をインストールする前に自動的に削除します。

アップグレードアクティベーションキーの使用

Parallels Desktop 4.0 アップグレード版をご購入の場合、前のバージョンのキーを確認する場合があります。
(クリーンインストールをした場合等)

- 前のバージョンの Parallels Desktop を製品版アクティベーションキーでアクティベーション済みの場合、アップグレード版のキー入力だけが必要です。

- Parallels Desktop 3.0 をトライアルアクティベーションキーでアクティベーション済みの場合、製品版の前のバージョンと 4.0 の両方のキーの入力を求められます。

仮想マシンを新しいフォーマットに変換する

Parallels Desktop 4.0 は、仮想マシンに新しいフォーマットを使用します。前のバージョンで作成された仮想マシンを起動すると、新しいフォーマットに変換するか問い合わせます。仮想マシンを新しいフォーマットに変換するとき以下を選択することができます。

- [バックアップして変換する] をクリックすると、仮想マシンはバックアップと新しいフォーマットへの変換をします。Parallels Desktop 3.0 を起動して仮想マシンが必要になったとき、バックアップから復元することができます。

- [変換] をクリックすると、操作は元に戻れません。この場合、仮想マシンは古いフォーマットに戻すことができません。

仮想マシン構成のアップグレードと Parallels Tools のアップデート

仮想マシン構成は、変換後に自動的にアップグレードされます。Parallels Tools も同様にアップデートされます。

備考 : Linux 仮想マシンではアップグレード後に X Server の起動に失敗することがあります。この場合、テキストモードで手動で Parallels Tools のアップグレードをする必要があります。

8. Parallels Desktop のアクティベート

Parallels Desktop の全ての機能を利用するには、アクティベーションキーでアクティベートする必要があります。パッケージ版を購入した場合は、ユーザー登録のご案内または、クイックスタートガイドの裏面にアクティベーションキーが添付されています。オンラインで購入した場合、アクティベーションキーは電子メールで送信されます。ご購入前に体験版をダウンロードした場合、一定の有効期限が設定されたトライアルアクティベーションキーが提供されます。

Parallels Desktop のアクティベート後は、仮想マシンを実行してオペレーティングシステムや各種のアプリケーションを仮想マシンにインストールできます。

1. Parallels Desktop を起動します。

2. ヘルプメニューから [製品のアクティベート] を選択します。

3. [製品のアクティベート] ダイアログボックスで名前と会社名 (これらのフィールドはオプションです) を入力し [アクティベーションキー] フィールドにアクティベーションキーを入力します。

以上で Parallels Desktop はアクティベートされました。仮想マシンを作成してオペレーティングシステムをインストールし、仮想マシンのアプリケーションを Mac のアプリケーションと並べて使用できます。

9. Parallels Desktop の削除

Parallels Desktop のインストールに使用した DMG インストールイメージファイルを検索して、開きます。
[Uninstall Parallels Desktop] をダブルクリックします。

1. [ようこそ] ダイアログボックスで [続行] をクリックします。
 2. [アンインストールするコンポーネントの選択] ウィンドウで、削除するコンポーネントを選択して、[アンインストール] をクリックします。
 - [Parallels Desktop] このオプションを選択すると、Parallels Desktop がコンピュータから削除されます。
 - [アプリケーション設定] このオプションを選択すると、Parallels Desktop の設定、アクティベーション情報、登録済みの仮想マシンの一覧がコンピュータから削除されます。
- 備考 : アンインストール操作では、仮想マシンおよびそのファイルはホストコンピュータから削除されません。
3. 次のダイアログボックスで、[アンインストール] をクリックします。
 4. パスワードの入力を求めるメッセージが表示されたら、パスワードを入力して [OK] をクリックします。
 5. アンインストーラによって Parallels Desktop がコンピュータから削除されます。
 6. Parallels Desktop が削除されたら、[閉じる] をクリックしてアンインストーラを終了します。

10. 既知の問題

Parallels Desktop 4.0 (ビルド 4.0.3810) アップデートにおける既知の問題

- Mac OS X 10.6 Snow Leopard x86_64 に関する問題 :
 - 共有ネットワークを使用できません - ブリッジイーサネットをご利用ください。
 - USB ポートを使用できません。
 - SMP 構成の仮想マシンはパフォーマンスを著しく損ないます。
- Windows 7 試験的サポートに関する問題 :
 - Windows 7 x86_64 インストールメディアは自動認識しません。
 - サウンドをサポートしません。
 - Windows エナジースクリーンセーバーが動作すると、画面の再描画で仮想マシンが止まります。
- Linux ゲスト OS においてデフォルトのビデオメモリ割り当てで画面解像度が動的に変更できない。ビデオメモリを少なくとも 6 MB 以上に増やす必要があります。
- " ホストコンピュータと異なる時刻を許可する " オプションが有効な場合でも Mac OS X と Linux ゲスト OS との間で時差を保持できません。
- Mac OS で Dock の " 自動的に隠す " 機能が有効な場合にゴミ箱の統合が動きません。
- ディスク暗号化ツールが Windows のブートに非常に長い時間をかけます。この問題を回避するには、CPU 設定の [システムフラグ] オプションに "kernel.real_mode_vtx=0" を追加します。
- Mac OS X ゲストのサウンドクオリティが高くありません。
- 仮想マシンに 256 MB のビデオメモリを割り当てていると、特定の 3D アプリケーション (3D Canvas 、Autodesk Inventor 等) が不正な動作をすることがあります。この問題を回避するには、ビデオメモリを 128 MB まで減少させてお試してください。
- Boot Camp Windows の仮想マシンで起動した後に、Acronis サービスの起動に失敗したというメッセージが表示されることがあります。このメッセージは仮想マシンのパフォーマンスに影響はありませんので、無視することができます。
- Parallels Desktop 3.0 で使用した Windows Vista の Boot Camp 仮想マシンは、アップグレード後に再アク

ディベーションが必要になります。

- Parallels Desktop 3.0 でマイグレーションした Virtual PC の仮想マシンを Parallels Desktop 4.0 へコンバートした際に、間違った CPU ドライバがインストールされます。これはゲスト OS でアプリケーションを起動せず、CPU を使用していないにもかかわらず、ホスト OS の CPU 使用率を高めます。この問題を回避するには、ゲスト OS 内のデバイスマネージャより CPU ドライバを再インストールしてください。
- 仮想マシンで iSight デバイスの接続と切断を繰り返し行くと、Mac OS X から認識されなくなります。
- ゲスト OS で Apple USB モデムが動作しません。

Parallels Desktop 4.0 (ビルド 4.0.3540) における既知の問題

- 仮想ハードディスクを仮想マシンから削除し、再度追加するとブート順序でハードディスクが最後になってしまい、起動時間が長くなる。ハードディスクを追加後にブート順序を設定し直すことで回避できます。
- Boot Camp の Windows Vista でコントロールパネルにアクセスできないことがあります。
- Windows Vista を仮想マシンで起動した際にスケジュールされた chkdsk が動作しないことがあります。
- 2 CPU を設定した Windows 仮想マシンの構成で、Parallels Desktop の起動時に CPU を 100% 以上消費することがあります。Windows ゲスト OS で CPU ドライバのアップデートを行ってください。
- Parallels Desktop 4.0 へアップグレード後、Windows Vista の Boot Camp 仮想マシンで、再度アクティベーションを求められることがあります。
- Parallels Desktop 3.0 からコンバートされた Windows 仮想マシンで、最大化された Windows アプリケーションウィンドウがタスクバーを隠してしまうことがあります。この問題が起きた場合、Windows タスクバー上で右クリックから [プロパティ] を選択し、[タスクバーを他のウィンドウの手前に表示する] オプションをチェックします。
- 他の "スペース" に切り替えたとき、すべてのゲストオペレーティングシステムが最小化されてしまいます。この場合、ウインドウモードへ切り替えてその後、Coherence モードに戻ってください。
- 仮想マシンがブリッジモードで有線から無線ネットワーク (またはその逆) に切り替わる時、IP アドレスが切り替わらず、仮想マシンはネットワークに接続できないことがあります。この場合、ゲスト Windows オペレーティングシステムでネットワーク接続アイコンを右クリックし、[修復] を実行します。
- Parallels Desktop 4.0 へのアップグレードが終了した後に、Windows 仮想マシン内に Parallels サービスのユーザープロファイルが残ることがあります。
- Parallels Transporter と Parallels Mounter は、Boot Camp パーティションでは動作しません。
- 32 ビット Mac ホストで作成したスナップショットやサスペンド状態の仮想マシンを 64 ビット Mac ホスト (またはその逆) で復帰やレジュームができません。

11. 著作権表示

Copyright© 1999-2008 by Parallels Holdings, Ltd.
All rights reserved.

Parallels, Coherence, Parallels Transporter, Parallels Compressor, Parallels Desktop, and Parallels Explorer are registered trademarks of Parallels Software International, Inc. Virtuozzo, Plesk, HSPcomplete, and corresponding logos are trademarks of Parallels Holdings, Ltd. The Parallels logo is a trademark of Parallels Holdings, Ltd.

This product is based on a technology that is the subject matter of a number of patent pending applications. Distribution of this work or derivative of this work in any form is prohibited unless prior written permission is obtained from the copyright holder.

Microsoft, Windows, Windows Server, Windows NT, Windows Vista, and MS-DOS are registered trademarks of Microsoft Corporation.

Linux is a registered trademark of Linus Torvalds.

Apple, Mac, and Mac OS are trademarks of Apple Inc.

All other marks and names mentioned herein may be trademarks of their respective owners.

12. 連絡先情報

製品の Web サイト : <http://www.runexy.co.jp/software/parallels-desktop/>